

日本環境学会 第51回（2025年）研究発表会要項【速報版】

第51研究発表会は、昨年に続き、対面開催となります（オンラインでの中継は予定していません）。最終確定要項は4月初旬に日本環境学会ウェブサイト（<https://jaes.sakura.ne.jp/>）上で改めてご案内いたしますので、ご確認をお願いいたします。

1. 開催日程

6月 14日（土）

午前：研究発表会（口頭発表）

午後：シンポジウム，総会

夕方：懇親会

6月 15日（日）

午前：研究発表会（口頭発表）

午後：自主企画セッション（3件以内）

2. 会場

横浜国立大学

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1

会場アクセス：

<http://www.ynu.ac.jp/access/index.html>

キャンパスマップ：

http://www.ynu.ac.jp/access/pdf/YNU_MAP_J.pdf

交通機関アクセス

主な交通機関からのアクセスは上記の会場アクセスのURL をご覧下さい。

3. 費用

① 参加費

5月9日（金）までに振込 / 5月10日（土）以降に振込・当日支払い

一般・シニア会員 4,000円 / 5,000円

学生会員 1,000円 / 2,000円

非会員 5,000円 / 6,000円

* 予稿集はデジタルデータ（PDF）にて配布します。印刷に費用がかからない分、例年より参加費が安くなりました。

② 懇親会費

一般・シニア会員 5,000円

学生会員 3,000円

③ 昼食（お弁当など）

各自ご準備下さい。会場周辺には飲食店やコンビニエンスストアなどがございます。当日、周辺地図を配布いたします。

4. 参加申し込み方法

① 事前参加申し込み

同封の振込用紙によるお支払いをもって参加申し込みといたします（振込手数料はご負担願います）。

② 当日参加申し込み：会場にて受け付けます。

※領収書ご希望の方は当日、受付にてお申し出下さい。

※参加費を納入されて研究発表会を欠席された場合、納入された参加費の払い戻しはいたしません。

③ 諸注意

発表の方も、発表会に参加(聴講)だけされる方も、いずれも、学会ウェブサイトから「事前参加申し込み」が必要です。

5. 研究発表申し込み

① 申し込み期限：2025年4月16日（水）23：00まで（厳守）

研究発表をご希望の方は、日本環境学会ウェブサイト (<https://jaes.sakura.ne.jp/>) に掲載予定の「研究発表申し込みフォーム」のリンクから、お申し込み下さい。

申し込みの後、「申し込み受付」の自動確認メールが届きます。発表申し込みフォームを送信して3日を経過しても、確認メールが届かない場合は、大会事務局（大会メールアドレス：jaes2025@jaes.sakura.ne.jp）にご連絡をお願いします。

② 発表可能なセッション（申込み状況により、変更・調整する可能性があります）

- | | |
|---------------|-------------------------|
| (1) 地球環境 | (2) エネルギー |
| (3) 大気汚染 | (4) 土壌・水質 |
| (5) 廃棄物・都市問題 | (6) 生態系・生物多様性 |
| (7) 環境教育・環境哲学 | (8) 環境経済・環境政策・環境法 |
| (9) 震災・災害関連 | (10) 市民科学 |
| (11) 環境情報 | (12) 自由論題 ※事務局で調整いたします。 |

実質的に同じテーマによる複数の報告、あるいは、第1部、第2部のように、同じテーマのシリーズで複数の報告を申し込むことは、ご遠慮下さい。報告テーマが重複している場合は、報告内容・趣旨等を実行委員会から確認させていただきます。

③ 発表時間、準備するもの

口頭発表は、発表12分、質疑応答3分の合計で15分です。発表会場には、ノートPC（Windows）、接続ケーブル（HDMI形式）、レーザーポインターが用意されています。発表者のみなさんは、発表データが入ったUSBメモリーもしくはご自身のノートPCをご持参下さい（必要があればHDMI形式からtype C等への変換ケーブル／端子をご持参下さい）。なお、会場でのwi-fi、ネットワーク利用についてはeduroamの登録をお勧めします。

④ 発表者（研究発表者）資格

口頭発表者は、本学会の会員に限ります。会員でない場合は、発表申し込みと同時に、入会申し込みを、学会事務局（大会事務局ではありません）までお願いいたします。ただし、連名者のうち、口頭発表者以外は、会員でなくても構いません。

⑤ 予稿集原稿の著作権について（HP上に掲載予定です。紙媒体での配布はありません）

予稿集原稿の包括的な著作権（電子的形態による利用も含む）は、原則として、日本環境学会に帰属するものとします。ただし、著者自身が自著の原稿を複製・翻案等の形で利用するこ

とは差し支えありません。

上記の著作権に関する記述は、予稿集を日本環境学会のウェブサイトに掲載するためのものです。発表者が発表内容を論文・著作としてまとめたり、講義などで使用したりすることを制限するものではありません。

6. 自主企画セッション申し込み

①【申し込み期限：2025年4月16日（水）23：00まで】

自主企画セッションは、特定テーマについて複数名で報告・議論を行う場を提供するものです。

研究発表と自主企画セッション両方に申し込みすることは可能です。ただし、内容的に同一テーマと見なされるものは、ご遠慮下さい。研究発表と自主企画セッションの内容が殆ど重複している場合は、報告内容・趣旨等を大会実行委員会が確認させていただきます。

自主企画セッションの時間は、1セッション120分を原則とします。時間内であれば開催内容（事例報告・パネルディスカッション・研究会など）は自由に設定できます。

② 申し込み方法

- ・自主企画セッションを希望するグループは、代表者 1 名が、日本環境学会ウェブサイト（[https:// jaes.sakura.ne.jp/](https://jaes.sakura.ne.jp/)）の「自主企画セッション申し込みフォーム」をダウンロードして記入のうえ、大会事務局まで、電子メール（jaes2025@jaes.sakura.ne.jp）にて申し込みをして下さい。
- ・大会事務局にて確認の後、「申し込み受付」の確認メールをお送りします。申し込み送信後、1週間を経過しても確認メールが届かない場合は、大会事務局（jaes2025@jaes.sakura.ne.jp）までご連絡をお願いいたします。
- ・自主企画セッションの申し込み確認の後、開催の有無に変更がある場合は、実行委員会に必ずご連絡下さい。
- ・自主企画セッションは、3件以内を予定します。応募多数の場合は、会場の制約により、セッション時間の調整、または、セッション企画をお断りする場合があります。
- ・自主企画セッションの採否は、4月23日（水）までに、代表者の方に、メールでお知らせします。自主企画セッションが不採用になった方で一般発表に切り替えて報告を希望される場合は、個別に調整します。
- ・自主企画セッションの代表者は本学会の会員に限ります。
学会員でない場合は、セッション申し込みと同時に、入会申し込みを、学会事務局（大会事務局ではありません）までお願いいたします。
- ・事前に、座長、演者の全員に内諾を取って下さい。

③予稿原稿の提出、著作権

- ・自主企画セッションも、予稿集原稿を提出して下さい。セッションで1本の予稿です。代表者から、予稿原稿の締め切り期限までに、提出して下さい。
- ・予稿集原稿の包括的な著作権（電子的形態による利用も含む）、原則として、日本環境学会に帰属するものとします。ただし、著者自身が自著の原稿を複製や翻案等の形で利用することは差し支えありません。
- ・上記の著作権に関する記述は、予稿集を日本環境学会のウェブサイトに掲載するためのものです。発表者が発表内容を論文・著作としてまとめたり、講義などで使用したりすることを制限するものではありません。

7. 予稿集原稿の作成と送付（研究発表、自主企画セッション）

① 原稿締切り

2025年5月16日（金）23：00（必着）

締切りを厳守して下さい。提出が遅れた場合には予稿集に掲載できません。（上記5に従って、研究発表の申し込みを4月16日（水）までに済ませて下さい。）

② 原稿提出先

大会事務局（jaes2025@jaes.sakura.ne.jp）に電子メールでご提出下さい。

必ず、Word版とPDF版の両方を送信して下さい（ファイルの文字化けのリスクを回避するためです）。

③ 執筆様式のダウンロード

研究発表、自主企画セッションの原稿様式は、後日、日本環境学会ウェブサイト（<https://jaes.sakura.ne.jp/>）よりダウンロードできます。

④ 予稿集のデジタル化について

2019年までは予稿集を印刷配布していましたが、今年度もデジタルデータ（PDF）にて配布いたします。印刷に費用がかからない分、従来よりも参加費を安く設定しました。各自、PCやタブレット、スマホなどから閲覧下さい。学会会場には無線ネットワークが利用できる環境も整っておりますので（eduroamの利用を推奨）、会場でダウンロードすることも可能です。なお、印刷した予稿集を閲覧される場合は、会場の受付には「閲覧用予稿集」をご用意しておりますのでご利用下さい。

8. 実行委員会

実行委員 : 藤野 裕弘（日本環境学会会長、元・東海大学）
 日比 慶久（東海大学）
 佐藤 輝（フェリス女学院大学）
 知足 章宏（フェリス女学院大学）
実行委員長/事務局 : 氏川 恵次（横浜国立大学）

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4
横浜国立大学大学院国際社会科学研究所棟 氏川研究室
E-mail : jaes2025@jaes.sakura.ne.jp

9. 参加費等の振り込み口座（ゆうちょ銀行）

口座記号番号：00160-8-325412
口座名称 : 日本環境学会研究発表会（ニホンカンキョウガクケンキュウハツビョウカイ）
店名(店番) : 〇一九（ゼロイチキョウ）店(019)
預金種目 : 当座
口座番号 : 0325412

振込をされる際には、同封の振込用紙をご利用下さい。上記のゆうちょ銀行の店名と口座番号を入力の上、他の金融機関からの振込も可能です。

日本環境学会 第51回研究発表会 学会設立50周年企画について

第51回研究発表会においても、学会設立50周年を記念したシンポジウム等を開催予定です。

シンポジウム等の詳細については、4月初旬以降に日本環境学会ウェブサイト (<https://jaes.sakura.ne.jp/>) 上にて、順次改めてご案内いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第1日目 (6/14) シンポジウム

テーマ： 地域における市民・住民主体の気候変動対策の過去・現在・未来 (仮)

○開催趣旨

今日、国際的には気候変動対策やSDGsの目標年である2030年を目前に控えて、具体的な活動が益々求められているようです。日本でも第7次エネルギー基本計画が策定されつつありますが、学会や市民社会からも様々な意見が出されているように見受けられます。

市民・住民と気候変動対策のあり方については、近年、欧州で活発化している気候市民会議等が日本でも各地で具体化してきています。このような地域における市民・住民主体の気候変動対策の現状と課題、政策決定への影響はどのようなものとなるのでしょうか。またこれに対して学会の研究者が果たせる役割は何でしょうか。

本シンポジウムでは、第1部で気候変動対策の過去から現在までを総括するとともに、第2部で地域における市民・住民主体の気候変動対策の今後のあり方も考えていきます。

第1部 基調報告：気候変動問題の過去から現在 (仮)

- ・歌川 学 氏 (産業技術総合研究所・上級研究員、日本環境学会会員)
- ・柳下 正治 氏 (環境政策対話研究所・代表理事)

第2部 パネル：市民主体の気候変動対応の現在から未来 (仮)

- ・歌川 学 氏
 - ・柳下 正治 氏
 - ・的場 信敬 氏 (龍谷大学・教授、日本環境学会会員、日本環境学会共同研究プロジェクトメンバー)
- *気候市民会議実行委員等、他予定

*第2日目 (6/15) についても、前回大会に準じて、第1日目のシンポジウムを受けての50周年企画を検討しております。詳しくは追ってご案内いたします。